

令和3年度第2回横須賀市総合教育会議議事録

1 開会の日時

令和4年1月20日（木） 午前11時00分

2 出席委員

上 地 克 明	市長
新 倉 聡	教育委員会教育長
荒 川 由美子	教育委員会委員 (教育長職務代理者)
澤 田 真 弓	教育委員会委員
川 邊 幹 男	教育委員会委員
元 木 誠	教育委員会委員

3 傍聴人 7名

4 議題及び議事の概要

- ・横須賀市教育大綱の策定について

○開会

○議事 横須賀市教育大綱の策定について

(教育総務部長)

議事、横須賀市教育大綱の策定についてを議題といたします。
内容について、教育政策課長から説明をお願いします。

(教育政策課長)

それでは、横須賀市教育大綱（案）について、ご説明いたします。
まず、資料1をご覧ください。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3では、地方公共団体の長は、総合教育会議の協議を経て、教育に関する大綱を策定することとさ

れています。

そして、教育振興基本計画との関連については、計画の目標や施策の根本となる方針の部分が大綱に該当すると考えることができるため、総合教育会議で協議・調整し、教育振興基本計画をもって大綱に代えることができるとされています。

これからご説明する教育大綱（案）は、現在策定中の次期教育振興基本計画における横須賀の目指す教育の姿及び基本的な方針で構成されています。これらをもって大綱とすることについて、協議・調整をお願いするものです。

資料2をご覧ください。

教育大綱（案）の具体的な内容をご説明します。

教育大綱では、横須賀の目指す教育の姿として、「あなたが好き 私が好き 横須賀が好き」と誇れる人づくり」を掲げます。これは、市民の皆様に横須賀の教育の未来について夢や理想を語っていただいた教育フォーラムや、学識経験者、保護者、公募市民、学校関係者で組織する教育振興基本計画策定検討委員会での議論を踏まえ、策定いたしました。

「あなたが好き」には、思いやりを大切に、自分と異なる他者を受け入れる心を持ち、様々な価値観を持った人と力を合わせ、助け合える人になってほしいという思いを込めています。横須賀の教育は、他者理解、多様性、協働性を大切にし、「あなたが好き」と誇れる人を育てます。

「私が好き」には、自分らしく生きることを大切に、自ら考え、行動し、自分で判断する力や、生涯自ら学び続け、自分を律する力を持った人になってほしいという思いを込めています。横須賀の教育は、自己肯定、自立・自律、主体性を大切にし、「私が好き」と誇れる人を育てます。

「横須賀が好き」には、人々と出会い、学び、暮らすこのまちへの愛情・愛着を大切に、地域の歴史や文化、自然を理解し、人と人とのつながりを実感できる人になってほしい、そして、横須賀の良さを、自信を持って発信できる人になってほしいという思いを込めています。横須賀の教育を通じ、誰もが自然に「横須賀」が好きと誇れる、そんな姿を目指します。

資料右側をご覧ください。

目指す教育の姿を実現するための基本的な方針として、方針1「自立心と主体性のあるより良い社会の創り手を育てます」、方針2「多様性を認め合う共生社会の担い手を育てます」、方針3「生涯を通じた学びを支援します」、方針4「持続可能で魅力ある教育環境を整えます」という4つの方針を定め、学校、家庭、地域と一体となり、また、様々な関係機関と連携を図りながら、教育に関する施策に取り組んでいきます。

今回、策定する教育大綱の対象となる期間は、横須賀市基本構想・基本計

画や教育振興基本計画と合わせ、令和4年度から令和11年度までとします。
説明は以上となります。よろしくお願いいたします。

(教育総務部長)

ありがとうございました。

ただいま、教育大綱案について説明がありました。

まず、委員の皆様からご所見等があればお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。荒川委員、お願いいたします。

(荒川教育委員会委員)

では、私から発言させていただきます。

昨年4月の総合教育会議で、横須賀の教育の未来像について、市長や委員の皆様と意見交換をさせていただきました。

そこから、昨年、市民の皆様にご参加いただいた教育フォーラムや策定検討委員会の皆様に広く深いご意見をいただき、多くの方々の思いやご意見が基になって、この横須賀市教育大綱案が示されました。そのことに対して本当にありがたく感謝しております。

教育フォーラムに参加された方々のご意見をお聞きしたり、策定検討委員会の皆様が議論されてきた会議録を読ませていただいたりしましたが、これからの予測不能な社会を生きる子どもたちに必要なことを考えて、一つ一つの言葉を大切に議論されていることが伝わってきました。

1の目指す教育の姿、2の基本的な方針など、幾たびかの修正を経て、より多くの方々の意見を反映させたよい内容になっていると感じました。

特に、目指す教育の姿の中に込められた言葉や、それから、基本的な方針の4つの項目は、大人である私も自分はどうであるか考えさせられました。

今後、子どもたちを育てていく地域、保護者、教育に携わる大人が内容の具現化に向けて取り組むことが重要になってくると思います。私も関係の皆様と協力して進める一助になればと考えております。

私からは以上でございます。

(教育総務部長)

ありがとうございました。

続きまして、澤田委員、お願いいたします。

(澤田教育委員会委員)

失礼いたします。

ただいま、教育政策課長からのご説明にもありましたが、次期教育振興基本計画を策定するに当たっては、教育フォーラムや検討委員会等にて、様々な世代の様々な立場の方々と語り、検討してつくり上げてまいりました。

そのプロセスでは、横須賀の教育の未来について、夢を語り、理想を語り合いました。そして、単に夢や理想で終わらないように、その実現のための現状分析や方策など、様々な角度から話をしてまいりました。その中では、これからの横須賀を担っていくであろう学生たちからの未来を見据えた、しっかりとした意見に驚かされたとともに、感銘を受けました。若者の強い力、勢いを感じました。

この策定に関わった方々が、皆、「自分たちのこと」、「我が横須賀のこと」として真剣に考えてつくり上げたのが、この「横須賀の目指す教育の姿」であり、それを実現するための「基本的な方針」であると考えています。

横須賀の目指す教育の姿、「あなたが好き 私が好き 横須賀が好き」という文言、誰にでも分かりやすく、親しみやすいフレーズであると思います。そして、その下にある4つの基本方針、教育振興基本計画では、この方針の下に柱があり、さらにそれを具体的にした施策が位置づけられています。この具体的な施策をこれから確実に進めていかなければならないと思っています。

そのようなことから、次期教育振興基本計画を横須賀市教育大綱としても位置づけて、一体となって取り組んでいくことが重要であると考えております。

私からは以上でございます。

(教育総務部長)

ありがとうございました。

続きまして、川邊委員、お願いいたします。

(川邊教育委員会委員)

この大綱に関しましては、教育委員会の中でも何回か話をしております。内容としては、私は異議はございません。基本的な概念、方向性を示す1の横須賀の目指す教育の姿、そして、施策に取り組むための基本的な方針を定めた2の基本的な方針と、分かりやすく構成されていてよいと思いますが、では、今後どのように実践するかが基本的な方針のところでは見えないので、大綱とは別に例えば重点課題のようなものを定めていくと、もっと運用しやすいものになるのではないかと思います。

以上です。

(教育総務部長)

ありがとうございました。

続きまして、元木委員、お願いいたします。

(元木教育委員会委員)

まず、横須賀が目指す教育の姿、基本的な方針は教育大綱としてふさわしいと思います。

保護者の立場としても、子どもたちが、「あなたが好き 私が好き 横須賀が好き」と誇れるような人になってもらいたいと願っています。

1人1台のタブレット端末の整備が完了し、今後、様々なICTを活用した教育が展開されていきますが、ICTを活用した教育により、児童・生徒さんの学びも変わってくると思います。児童・生徒さん一人一人の理解度、興味・関心などを考慮した適応学習により、個々の能力を最大限に伸ばすことができると思います。

また、情報共有ツールやウェブ会議システムを活用した双方向授業及び対話的な学び、思考を深める学びが増加します。

もちろん教員の育成、情報モラル、情報セキュリティーに関する教育など、様々な課題がありますが、2030年を見据え、学校と家庭、地域の方々と協力し合いながら、ICT教育環境を整備していければと思います。ICTを活用した教育により、子どもたちが自立心と主体性を持ち、多様性を認めることのできる人に育ててほしいと思います。

以上となります。

(教育総務部長)

委員の皆様、ありがとうございました。

それでは、教育長、ご所見お願いいたします。

(新倉教育委員会教育長)

各委員の皆様ありがとうございます。

ちょうど1年前になるかと思いますが、この総合教育会議の場において、横須賀の教育の未来像について意見交換をさせていただきました。計画策定に当たっては、目指す姿、夢や理想というものを市民の皆様と語り合った上で、しっかりと共有していくことが大事だということを改めて確認をしたところです。

その後、教育フォーラムや検討委員会などの場で、様々な方と語り合いながら、この横須賀の目指す教育の姿をつくり上げてきました。特に、「あなたが好き 私が好き 横須賀が好き」というフレーズについては、10月の総合教育

会議で市長からもご意見をいただきました。このように皆さんにご意見、ご議論をいただきましたこの横須賀の目指す教育の姿、基本的な方針を教育大綱として位置づけた上、教育委員会と市長の共通の目標として、連携して進めていくべきだと思っているところです。

私からは、以上です。

(教育総務部長)

教育長、ありがとうございました。

それでは、市長からご所見をお願いします。

(上地市長)

この教育大綱に対する教育委員会の考え方は理解しました。そして、市民の皆さんと横須賀の教育はどうあるべきかということについて話し合い、思いを共有しながら進めてきたということも理解しました。その大事さは私も共感するところです。

さて、「あなたが好き 私が好き 横須賀が好き」とそろえ、すごく分かりやすいものにしたということには、非常に感心し、誰が見ても分かりやすいイメージということで、非常によかったのではないかと思います。

今までは観念的な、こうであるべき、というものでしたけれども、どうも頭の中でしか理解できないので、このようなイメージがあり、誰でも分かりやすい大綱ができて、すごくうれしく思っています。

それから、私はもともと人が好きなタイプでして、人が好きでなければ、私を好きにならないし、人が好きだからこそ横須賀が好きになれると思っています。よく、「私は横須賀が好きです。」と言われるのですが、「何が好きなのですか。」と聞くと、あまり皆さん分かっていないのです。私は、少なくとも人が好きだから、こういう状況の中で、こういう人がいて、こういう信頼する人がいたから、私は今でも元気で、真面目に生きているのです。だから横須賀が好きですって、これはまず当たり前のことなのです。行政でも横須賀が好きとか、愛する横須賀というのですが、では、あなたは何が好きなのですかと突き詰めたことがない。そこはやはり教育の中で子どもたちが理解しながら、我々も理解していかなければいけないところだと思っていたので、なおさら、横須賀の目指す教育の姿が、「あなたが好き 私が好き 横須賀が好き」となったことを、市長として大変うれしく思っております。これは、生きていく上での原点だったなと思っています。

もう一点は、生き抜く力というお話をしていたのですが、孤立感が強い今のコロナ禍という社会状況の中で、子どもたちがどのようにしていくのか、自

分でアイデンティティーをつくっていくということが非常に大変な状態なので、ここに多様性、他者理解、協働性とあるのですが、私たちはセーフティネットとして何を子どもたちに提供できるかということが、教育委員会だけではなくて、行政も関わっていかなくてはいけない、福祉も関わらなければいけないと思っています。

そういう意味で、この大綱が出来上がった以上、これは私たちの、私たち自身の、実践するための使命だと、改めて私は市長として感じています。

改めまして、策定に関わってご尽力いただいた皆様に感謝申し上げたいと思います。

私としましては、教育委員会と共通の目標を持って、より連携をしながら教育行政を推進していくために教育振興基本計画の横須賀の目指す教育の姿及び基本的な方針を本市の教育大綱として、位置づけたいと考えています。

以上であります。ありがとうございました。

(教育総務部長)

市長、ありがとうございました。

ただいまの協議のとおり、資料2の横須賀市教育大綱(案)をもって、本市の大綱とすることについて、ご異議はございませんでしょうか。

(各委員)

—異議なし—

(教育総務部長)

ありがとうございます。

ご異議がないようですので、本案を横須賀市教育大綱として策定いたします。

以上をもちまして、予定していた案件は全て終了いたしましたので、進行を市長にお戻しいたします。

(上地市長)

お疲れさまでした。どうもありがとうございました。

以上で、本日の総合教育会議を終了させていただきます。本日は誠にありがとうございました。

5 閉会及び散会の時刻

令和4年1月20日(木) 午前11時17分